



今日のキーワード 巣ごもり消費を追い風に『ゲーム機市場』が活況

新型コロナの拡大による外出自粛などを受け、企業の業況が軒並み悪化するなか、巣ごもり消費を追い風に『ゲーム機市場』の活況が続いています。特に任天堂のゲームソフト「あつまれ どうぶつの森」は巣ごもり生活の消費者の心をとらえ、大きく販売が伸びています。新型コロナの収束が見通せないことや、年末商戦に向けてソニーとマイクロソフトが新型のゲーム機を発売することなどから『ゲーム機市場』の活況は続きそうです。

ポイント1 『ゲーム機市場』は巣ごもり消費を追い風に好調

- コロナ禍で外出自粛などから企業の業況が軒並み悪化するなか、『ゲーム機市場』は巣ごもり消費を追い風に都内の家電量販店などで「ニンテンドースイッチ」が完売する店舗もでるなど活況が続いています。年末商戦に向けてソニーとマイクロソフトが新型のゲーム機を発売する予定で年末商戦への期待が高まっています。

ポイント2 任天堂、ソニーの好業績はゲームがけん引

- 任天堂の2020年4～6月期の連結決算は、純利益が前年同期比6.4倍の1,065億円と大幅な増益となりました。3月20日に発売したスイッチ用ソフト「あつまれ どうぶつの森」はわずか12日間で1,177万本を世界で販売するなど記録的なヒットとなり、ゲーム機「ニンテンドースイッチ」の2020年度の生産台数は期初計画から2割増の2,500万台規模と、過去最大になる模様です。
- ソニーの2020年4～6月期の連結決算（米国会計基準）は、純利益が前年同期比53.3%増の2,333億円と、事前の市場予想の平均を上回る大幅な増益でした。けん引したのは、コロナ禍の「巣ごもり特需」で大きく伸びたゲーム事業です。同社とマイクロソフトはともに年末商戦向けに、ディスクを挿入して遊ぶ通常版に加えてダウンロード専用機もそろって投入し販売拡大を図ります。



今後の展開 中長期的にはクラウドの台頭への戦略が必要

- 新型コロナの収束は見通せず、年末商戦に向けてソニーとマイクロソフトが新型のゲーム機を発売することから『ゲーム機市場』の活況は続きそうです。ただ両社がダウンロード専用機をそろって投入するのは、ダウンロードの比率が上昇するなどゲーム市場が大きく変わってきたことが背景にあります。中長期的には専用機がなくてもインターネット経由で遊べるクラウドゲームが、次世代通信規格「5G」などの普及でシェアを高めていくとみられています。専用機ならではの魅力を高め、クラウドゲームの台頭にそなえた取り組みが求められます。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも チェック！

2020年9月8日 コロナ禍で加速する『DX』

2020年9月4日 コロナ禍でも自動車大手は高水準の『研究開発投資』を継続

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。